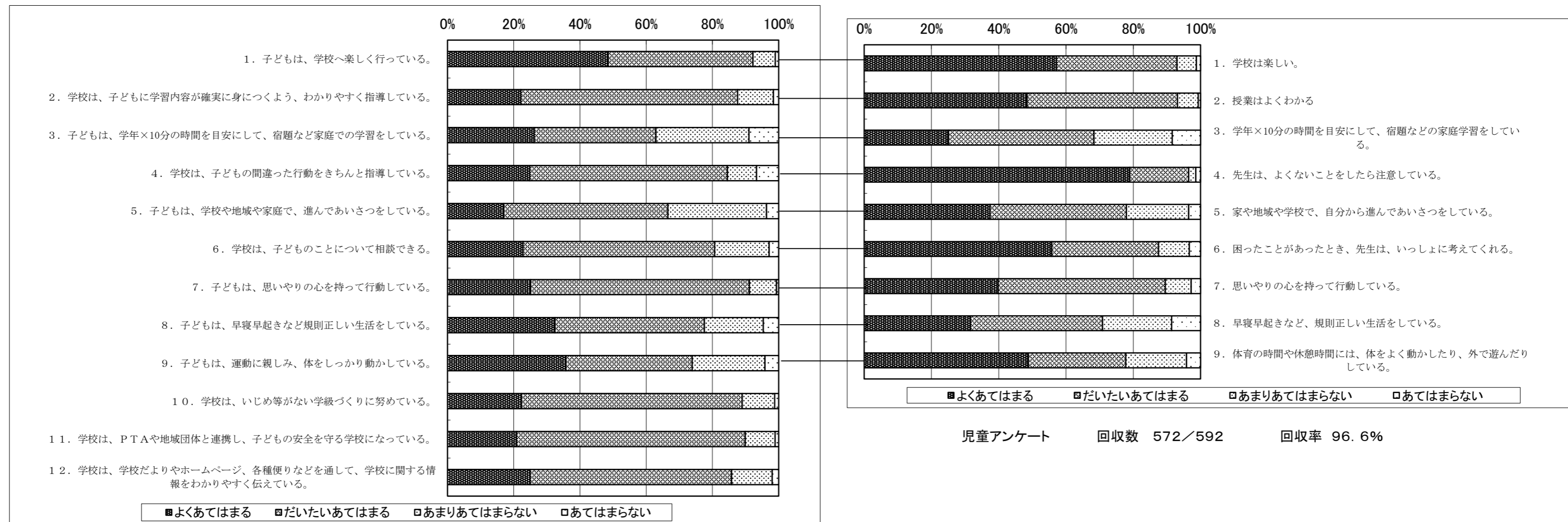


令和2年度 保護者・児童アンケート集計結果

令和2年11月16日～11月20日実施

昨年の11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には ―――― を結んでいます。



保護者アンケート 回収数 785/899 回収率 87.3%

<結果のまとめ>

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が特に多かったのは、「1. 子どもは学校へ楽しく行っている。」で92.2% (昨年度94.4%)でした。これに対応する児童アンケート「1. 学校は楽しい」の肯定的評価の割合も多く、93.0% (昨年度93.2%)となりました。また、次いで多かったのは、「7. 子どもは、思いやりの心を持って行動している」91.2% (昨年度90.9%)で、これに対応する児童アンケート「思いやりの心を持って行動している」は89.5% (昨年度88.5%)でした。

◆保護者アンケートの中で肯定的評価が特に低かったのは、「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、宿題など家庭での学習をしている。」で62.9% (昨年度63.6%)です。一方、児童アンケートの「3. 学年×10分の時間をめやすにして、宿題などの家庭学習をしている。」は68.3% (昨年度67.5%)でした。新学習指導要領では、「主体的に学習に取り組む態度」として、自分で学びを調整する力が大切だとされています。また、文部科学省から「個別最適化学習」というキーワードも掲げられているところです。本校においても、児童個別の課題や興味関心に応じて学びを選んだり変えたりできるような、家庭学習の在り方を模索したり試みたりしているところです。

◆2番目に低かったのは、「5. 子どもは、学校や地域や家庭で、進んであいさつしている」で66.6% (昨年度65.0%)でした。対応する児童アンケート「5. 家や地域や学校で、自分から進んであいさつをしている」は78.0% (昨年度82.4%)でした。校内では、生活委員会の児童が校門で毎朝「あいさつ運動」を続けており、あいさつをする雰囲気を広めようと児童が主体となった取組を行っています。

◆保護者アンケート「子どもは、思いやりの心を持って行動している」91.2% (昨年度90.9%)、児童アンケート「思いやりの心を持って行動している」89.5% (昨年度88.5%)でした。このことに関わる取組として、児童会で友達の良いところを見つけよう(みんな笑顔で過ごせる学校)をテーマに「ほっとハートプロジェクト」を実施しました。これは各委員会が、全校児童が自主的に「自分も周りの人も大切に」しようとする取組を考え、実施したものです。各委員会では、心が温まるエピソードの紹介、標語やポスターの掲示、あいさつ運動、遊びの場を設けるなどの取組が行われました。コロナ禍のため制約の多い中ですが、テーマに向かって主体的に活動する中で、できるかぎり人と人とのつながりの良さを感じられるように心がけたところです。

◆学力向上については、保護者アンケート「2. 学校は、子どもの学習内容が身につくよう、わかりやすく指導している。」は、87.6% (昨年度87.0%)でした。一方、児童アンケート「2. 授業はよくわかる」は、93.1% (昨年度91.6%)でした。本年度は、以前より授業に積極的に取り入れてきたペアやグループでの交流する場面については、コロナウイルス感染症予防の観点から、気軽に設定できない状況となってしまいました。しかしながら、課題を解決する過程を大切にすること、主体的に学習に取り組む態度を育むこと、ICTの効果的な活用など、新学習指導要領の趣旨に応じた授業改善に努めていきたいと考えています。

◆体力向上については、保護者アンケート「9. 子どもは、運動に親しみ、体をよく動かしている。」の項目で73.9% (昨年度74.5%)、児童アンケート「9. 体育の時間や休憩時間には、体をよく動かしたり、外で遊んだりしている。」の項目で77.8% (昨年度75.8%)という結果でした。本校では、家庭学習のひとつに「体育の宿題」を位置づけて体力向上に取り組んでいるところです。また、本年度は家庭においても意欲的に取り組めるよう「スーパートライin唐崎」を学校ホームページ上で実施しました。

◆保護者アンケートの「10. 学校は、いじめ等がない学級づくりに努めている」は、89.0% (昨年度85.5%)でした。ここ数年、高い割合を維持しています。いじめの捉え方は近年大きく変わり、本校でも積極的に対応してきているところです。今後も学校と家庭で連絡を取り合いながら、いじめに向き合っていきたいと考えています。

◆保護者アンケート「8. 子どもは、早寝早起きなど規則正しい生活をしている。」の項目は77.6% (昨年度72.3%)であったのに対し、児童アンケート「8. 早寝早起きなど、規則正しい生活をしている。」の項目は70.9% (昨年度72.2%)という結果でした。学年別に見た場合、高学年になるにつれて基本的な生活習慣が乱れる傾向が見られます。全国的な調査から、基本的な生活習慣と学習意欲は関わりがあるとされています。今後も家庭や各校園と連携しながら、取組を進めていきたいと思います。

※保護者および児童アンケートの結果を活用した自己評価と改善策等につきましては、「令和2年度 唐崎小学校学校評価書」をご覧ください。